

茨木市議会議員

あびこ浩子

ゆめ・みらい通信



連絡先：（あびこ浩子事務所）茨木市中穂積3丁目1-35

TEL&FAX 072-601-0569

（自宅）茨木市穂積台12-503

ウェブサイト：<http://www.hcn.zaq.ne.jp/abiko-h/>



穂積地区文化展・街デ
イほづみの作品たち

【あびこ浩子プロフィール】

- ◆玉櫛小・南中卒業／1980大阪府立千里高校卒業／1984関西大学文学部卒業／2008大阪市立大学大学院創造都市研究科共生社会研究分野修士課程修了、大学時代銭原キャンプ場でカウンセラーとして活動
- ◆1984高槻市立第7中学校教諭／1987茨木市立三島中学校へ転任1990退職／2000沢池幼稚園PTA会長／2002穂積小PTA会長／2006茨木市PTA協議会会長／2004NPO法人 Chacha-House 代表理事/2006穂積小校区青少年健全育成運動協議会会長／2006NPO法人子育て広場全国連絡協議会理事／2011穂積地区自主防災会会長／2012穂積地区福祉委員会副委員長
- ◆2008・4茨木市議会議員補欠選挙で初当選／2009・1茨木市議会議員選挙で2期目当選
- ◆夫、長女、次女、長男の5人家族

腰椎ヘルニア手術からほぼ1年・・・ぼちぼちやってます！
 ゆっくり、ゆっくりと歩みは遅くても
 まちに出かけはじめました！！

みなさま、いつもお世話になっております。あびこ浩子です。

12月に入り、急に寒さが身に染みる毎日となりました。皆様お風邪などひかれていませんか？

私は、杖をつきながらの毎日から一歩踏み出そうと、杖なしで歩く練習を始めました。まだまだ足のしびれや痛みが取れているわけではなく、こむら返り状態が左のお尻から左足先までずっと続いています。人間不思議なもので、こむら返りして足がつった状態を1年も続けていると慣れてしまうというか、痛みもそんなもんだと受けとっています。左足の冷たさが寒さといっしょになって一層堪えています。

相変わらず、階段の昇降には困っていて、杖がないので、階段を避けてエレベーターを待っていると「若いのにエレベーター？」なんて聞かれることがあります。どうお返事してよいやら、話せば長くなりますし。内部障がいを持っておられるご病気を抱えておられる方は、電車の優先シートに腰か

けて眠れることがあるという話を聞いたことがあります、こういう感じなのかなとわが身になって実感です。

12月議会、杖なしで出ています。歩きながらわずかの段差につまずいたり、毛足の長いじゅうたんに足を取られてこけかけたり。なんだか人生の一步一步みたく、スムーズにいかない歩みです。でも、少しずつでも自分の歩みだと思えば、諦めずにゆっくりでも歩こうと思えてきました。今の私だから見える風景もあります。高齢者の方と一緒にゆっくりしか渡れない横断歩道で、それでも早足なんですよ！とドライバーさんに笑顔で訴えています（笑）皆さんが「大丈夫」と聞いてくださるお声が涙出るほど嬉しい！です。



茨木市と市議会
会広報紙が近畿市町村コンクールで受賞

第15号

公立保育所民営化にむけて

茨木市は新たな公立保育所民営化基本方針を発表し、これから5園を26年度から3年間で民営化するとの方針を打ち出しました。平成18年1月に最初の公立保育所民営化基本方針が出され、8園が民営化されました。これまで、民営化への検証が実施されてきました。保護者アンケート・法人アンケート、事業評価などを経て民営化を進めるにあたっての改善点などをだし、今回の民営化を進めることとなりました。

私は今回の民営化を受けて、公立保育所から私立保育園に変わる子どもたちが、極力生活環境の変化で、混乱することの無いようにと願っています。

26年度から民営化対象の下穂積保育所の保護者の方からご要望をいただきました。

そのお姿に、子どもたちの成長を見守るために、今、子どもたちが笑顔で通っている保育環境を壊さずに行きたいとの切実な思いを感じさせていただきました。

環境の変化を受けるのは子どもたちです。子どもたちが笑顔のままに過ごしていけるように、民営化移行に当たってはできるだけの対処をしていただきたいと私も思います。民営化を決めたのは大人です。子どもたちの為に、できるだけの移行措置取っていただけるようお願いしました。そのためにも保護者のみなさんのご要望をくみ取っていただける場を多くとっていただきたいとお願いし、場を持つことを約束いただきました。



穂積小校区青少年健全育成運動協議会主催の「みんなでやってみよう!」たくさんの子どもたちが学校全体を駆け回り様々なゲームに挑戦!

公民館のコミセン化移行について

茨木市の公民館が中央公民館・地区公民館・小学校区公民との組織から、地区公民館を廃止して、小学校区の公民館になり、公民館の無い校区にはコミセンがあり、小学校区ごとの地域の活動拠点として公民館かコミセンのいずれかができました。

茨木市の街づくりの方針として、地域ごとに「地域コミュニティ協議会」の立ち上げ、各地域への一括補助金を出すなど新しい地域づくりの方向性が打ち出されています。

公民館は社会教育施設としての設置目的があり、その趣旨に沿った利用者と利用方法が決められています。地域活動拠点施設として利用するためにコミュニティセンターへの移行を考えられています。コミセンは利用者や利用用途について

裁量が広がる利点があります。現在コミセンは地域団体が自主管理する指定管理者制度が導入されています。コミセンへの移行には地域のみなさんの合意が不可欠です。三島公民館が三島コミセンになり、今回大池公民館が大池コミセンに移行する条例改正が議会に出されました。地域のみなさんの取り組んでいこうとするご努力の結果がコミセン化となりました。

ただ移行にあたり、地域の皆様以外の市内全域に広がる利用者の皆様にも是非早めに知らせたいことや、同じ部屋を借りても公民館なら800円だったものが、翌日コミセンになると2000円になるとの現状はあまりに急激な値上げになり、そのあたりの激変緩和など、スムーズな移行に向けての取り組みをお願いいたしました。